

令和6年度事業報告

概 況

令和6年度は、入所者(利用者)の皆さんの生活をコロナ禍前に戻そうと行事等の再開に取り組んだが、長引いたコロナ禍により福祉・介護現場ではすぐに全面再開することには慎重にならざるを得ない状況であった。さらに、市内の福祉施設では断続的に新型コロナやインフルエンザ、ノロウィルスの感染が報告され、前年に引き続き一定の制限や制約を余儀なくされた1年であった。

また、国際情勢の不安定等に起因する物価の高騰は、特に光熱水費や燃料費、給食費、介護用品費など入所者の生活に直接かかわる支出増に大きく影響し、法人経営を直撃した。また介護職をはじめとし、求人しても応募者がいないという慢性的な人材不足も解消できなかった。その中でも、職員の育成や処遇改善に積極的に取り組み、10月の兵庫県の最低賃金の改定に伴い、給与規程や非常勤職員就業規則などの職員に関する規則、規程を見直した。

法人全体の収支は、当期資金収支差額においては昨年実績を上回り、13,205,097円の黒字で終了をした。また大きな支出として、本館で特殊浴槽2台の買い替え、また居宅介護支援を除く全部署にインカムを用いた新たな介護ソフトの導入を実施したことで、約2,000万弱の出費を要したが、それぞれに補助金の申請を受ける事ができたため、大きな負担増とはならなかった。

しかしながら、在宅部全体の低迷は依然継続しており、通所介護においては改善に向け人員増を図るも、年度途中でもあった為今年度内での実績回復には届いていない。さらに古市サービスステーションに至っては、前年度をさらに上回る18,500千円の繰入を起こしており待ったなしの状況となっている。在宅部自体のシェアは全体の15%ではあるものの、社会福祉事業を担う事業所として、地域貢献すなわち地域に選んでいただける事業所体制、特に在宅については地域密着型事業でもあるため、体制構築にむけての再検討が必要である。特に古市サービスステーションについては、繰入を大幅に減少させるべく、人員体制を抜本的に見直し、次年度開始後から直ぐに稼働できる状態で現在進めている。特養部の安定維持及び在宅部の収支回復を目指し、経営の安定化、施設老朽化の保全対策及び職員の育成強化に向けヒト・モノ・カネそしてトキ・情報の有効活用を計画的に実施していく。

1. 重点項目への取り組み状況

(1) 経営の安定化に向けての積極的な事業推進

3部(特養部、在宅部、業務部)体制のもと、迅速で安定した事業推進体制を目指した。

(2) 入所者(利用者)に寄り添った適切なサービス提供

利用者一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活の支援やサービスの提供を心掛けた。特に

ご家族との直接面会の時間や人数の緩和、外出なども再開した。

(3) 職員の資質及び専門性の向上

積極的に、集合研修やオンラインを活用した研修に参加し、専門性の向上や魅力ある職場づくりに取り組んだ。

(4) 地域貢献事業の実施

丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット丹波篠山)、丹波篠山市介護サービス事業者協議会への参画や丹波篠山市社会福祉協議会事業への協力、さらには、住民が主体的に開催する「地区福祉会議」に積極的にした。

2. 法人運営

(1) 理事会

開催日時・場所、招集日	出席理事	協議事項等	欠席者名	議事録署名人
第1回 5月27日 9時50分 やすらぎ園 招集日 5月7日	芝拓哉 畑由美子 波多野泰守 波多野誠 松本修大 谷口弘	(議案) 1 令和5年度事業報告及び決算報告 2 社会福祉充実計画 3 非常勤職員就業規則の改正 4 定款施行細則の改正 5 退任理事の後任候補者の選定及び評議員会への推薦 6 退任に伴う評議員選任・解任委員会委員の選任 7 令和6年度第1回評議員会の招集 (報告) 1 令和5年度会計予備費の使用 2 業務執行理事の職務執行状況報告	なし	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕
第2回 9月20日 9時55分 やすらぎ園 招集日 8月27日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 谷口弘 濱川茂	(議案) 1 給与規程施行細則の改正 2 非常勤職員就業規則の改正 3 事務処理規程の制定 4 衛生管理規程の制定 5 衛生委員会規程の制定 6 定款施行細則の改正 (報告) 1 理事長の職務執行状況報告 2 令和6年度設備・備品等の購入等進捗状況 3 やすらぎ園ふれあいまつり等の開催	松本修大	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕
第3回 12月23日 15時50分 やすらぎ園 招集日 12月2日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 松本修大 谷口弘 濱川茂	(議案) 1 令和6年度第1次補正予算案 2 非常勤職員就業規則の改正	なし	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕

第4回 3月10日 9時50分 やすらぎ園 招集日 2月17日	芝拓哉 波多野誠 波多野恭守 谷口弘 濱川茂	(議案) 1 令和6年度第2次補正予算 2 令和7年度事業計画(案)及び予算(案) 3 非常勤職員賞与支給規程の制定 4 給与規程の改正 5 給与規程施行細則の改正 6 育児・介護休業等に関する規則の制定 7 定款施行細則の改正 8 役員等賠償責任保険契約 9 令和6年度第2回評議員会の招集 (報告) 1 理事長職務執行状況報告 2 賞与支給に関する内規の改正 3 やすらぎ園デイサービス運営(実地)指導報告	松本修大	芝拓哉 (監事) 濱道由美 三宅利裕
--	------------------------------------	--	------	-----------------------------

(2) 評議員会

開催年日時、 場所等	出席評議員	協議事項等	欠席者名	議事録 署名人
第1回 6月10日 12時55分 やすらぎ園 招集日 5月27日	永井孝喜 原田勇 酒井一行 松岡四郎 青木恵子 石黒久雄	(議案) 1 令和5年度事業報告及び決算 2 社会福祉充実計画 3 理事の選任	前嶋弘	酒井一行 青木恵子 (議長) 松岡四郎
第2回 3月24日 13時30分 やすらぎ園 招集日 3月10日	永井孝喜 原田勇 酒井一行 松岡四郎 前嶋弘	(報告) 1 令和6年度第2次補正予算 2 令和7年度事業計画及び予算 3 諸規程の改正	石黒久雄 青木恵子	原田勇 前嶋弘 (議長) 永井孝喜

(3) 監査等

① 監事監査

実施日：5月16日(木) 10:00～12:00

実施場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

監査内容：令和5年度事業実施状況及び会計執行状況

実施者：三宅利裕監事、濱道由美監事

出席者：芝拓哉理事長、畑由美子業務執行理事、谷口弘理事(施設長)

濱川茂業務部長(事務長)、道下敏章在宅部長、西山美保特養部長

三崎ちどり総務室長

② やすらぎ園デイサービス運営(実地)指導

実施日：令和7年1月31日(金) 14:00～16:00

実施場所：特別養護老人ホームやすらぎ園

監査担当者：丹波篠山市長寿福祉課(2名)

内容等：地域密着型通所介護の運営指導について

指摘事項：文書指摘

重要事項説明書について、サービス提供体制強化加算Ⅲの記載漏れ及び運用されている料金の内容の記載をすること

対応：指導後、即時対応（重要事項説明書に記載）

(4) 厚生年金等調査

開催場所：10月15日(火)

開催場所：西宮年金事務所(西宮市)

参加者：施設長、事務長、会計責任者

内容：社会保険、厚生年金等加入についての調査（年金事務所より指名職員が対象）

結果：適正に処理されている

(5) 役員・職員親睦交流会

開催日時：12月23日(月)

開催場所：新たんば荘

内容：やすらぎ園職員互助会主催の忘年会に参加

参加役員：芝理事長、濱道監事

3. 会議・委員会等の開催

(1) 会議

① 経営会議

法人経営を適切に進めるため、事業の進捗管理及び懸案事項を協議するため定期的に開催した。

出席者：理事長、施設長、事務長、各部長

開催日：(定例)毎週月曜日

開催回数：令和6年4月3日～令和7年3月31日 延50回(臨時含む)

② 管理監督者会議

各部門の調整や組織の方針や目標の共有の場として開催した。

開催日：4月8日(月)15:00～16:00

出席者：理事長、施設長、部長、室長(補佐)、主任 計15名

③ 職員会議(スタッフ会議)

全職員が参加する全体会議として当初5月1日に予定していたが、新型コロナの罹患者が発生したため6月3日に順延し、開催した。

内容：・令和6年度の職員代表：岡容子（介護職、主任）を選出

・令和5年度職員互助会会計報告

・令和6年度丹南厚生会事業計画及び予算説明 他

④ 部門別会議

本館、デイサービスセンター、居宅介護支援事業所、小規模多機能など部門ごとに課題解決や情報の共有やケアカンファレンスの場として概ね毎月開催した。

(2) 委員会等

- ① 入所判定委員会：18回
- ② 身体拘束廃止委員会：4回
- ③ リスクマネジメント委員会：2回
- ④ 事故防止対策委員会：27回開催（従来型 12回、ユニット型 15回）
- ⑤ 感染症対策委員会：6回
- ⑥ 虐待防止委員会：2回
- ⑦ 給食委員会：6回
- ⑧ 行事委員会：7回

(3) 研修会

① 内部研修

ア. 身体拘束研修

第1回 7月8日(月) 内容：スピーチロック言い換え表現

第2回 1月13日(月) 内容：身体拘束確認テスト

イ. 事故防止研修

第1回 7月8日(月) 内容：動画視聴、利用者・介護者・環境面の原因考察

第2回 1月13日(月) 内容：危険予知トレーニング、グループ討議

ウ. 感染症予防研修・訓練

第1回 11月11日(月) 内容：手指消毒、手洗い研修、手指衛生訓練

第2回 12月13日(金)

内容：丹波篠山市介護サービス事業者協議会主催の感染症研修会に参加（標準予防策・日常生活での感染対策の基本についての研修・訓練）

エ. 虐待防止研修

第1回 7月24日(水)

内容：外部講師による「意思決定支援から虐待防止を考える」研修

講師：特定非営利活動法人ウィズユー 理事長 前田公幸氏

第2回 2月12日(水)

内容：丹波篠山市介護サービス事業者協議会主催の高齢者虐待防止研修に参加
「高齢者虐待防止と不適切ケア ～日頃の支援を通して考える～」

オ. 入職時研修

採用時、随時開催

内容：職場概要、職業倫理と行動基準、感染予防、人権・尊厳・守秘義務・BCP 対応など

カ. B C P 研修訓練

実施日：10月29日(火)

内容：・BCPについて(動画研修)・備蓄品・備蓄食品の確認・ハザードマップを
もとに、施設周辺の地形確認・ビジネスチャットを利用した安否確認訓練

② 外部研修 (WEB 研修含む)

研修名等	参加人数
兵庫 DWAT 基礎研修 (オンライン)	8
丹波篠山市多種職連携会議(3回)	9
介護サービス事業者協議会感染症研修会	15
コーチングを生かしたスタッフ育成術研修(県経営協)	2
兵庫県福祉人材センター会計実践フォローアップ研修 (オンライン)	1
兵庫県福祉人材センター主任介護支援専門員研修	1
兵庫県福祉人材センターチーム力を高めるファシリテーション研修	1
兵庫県福祉人材センター 栄養士・調理師研修	1
兵庫県福祉人材センター ほっとかへんネット実践交流会	1
兵庫県老人福祉事業協会施設長研修	1
認知症基礎研修(オンライン)	3
兵庫県福祉人材センターOJT 養成リーダー研修	2
兵庫県福祉人材センターOJT リーダー研修	1
兵庫県福祉人材センターフォローシップ研修	1
介護支援専門員更新研修	1
社会福祉法人人事労務管理講座(オンライン)	1
安全衛生技術試験協会第二種衛生管理者研修	1
社会福祉法人研修	2
全国経営協社会福祉法人会計実務者決算講座 (オンライン)	2
西日本豪雨災害の体験を通しての防災研修	1
市介護サービス事業者協議会施設サービス部会研修	10
市介護サービス事業者協議会通所部会研修 (2回)	7
丹波 B 老人福祉事業協会全体研修	3
兵庫県福祉人材センターファシリテーション研修	1
災害ボランティアセンターネットワーク会議	1
兵庫県老人福祉事業協会デイ部会研修	3

(4) 兵庫県老人福祉事業協会サービス評価事業

実施日：11月22日(金)

目的：職員自らがサービスのあり方・質を振り返る機を設け、今後のよりよいサービス
向上に繋げる。県内より 11 施設が参加。

内 容:事業実施に向けて施設内で委員会を立上げ、委員会メンバー中心に全職員へ事業説明会を開催。職員が記載した各意見を4回の委員会で議論を重ね、施設の意見として一冊にまとめる。開催日当日は、委員会メンバーが来園された老人福祉事業協会の各評価委員の方々と、各専門職の代表として実りのある意見交換並びに今後に向けての助言を受けた。

4. 事務局及び共通部門

(1) 総務

人材の確保について

人材紹介会社や法人ホームページ、またハローワークやインターネットを介した人材募集等々、今年度も年間を通し様々な形で採用を継続実施した。紹介手数料は前年度程費やすことにはならなかったが、採用しても短期間で辞めた人材も数名あり、結果的には計画通りの補充ができなかった。特に介護職及び看護師、ケアマネジャーについては、引き続き採用のアクションを継続し、体制の安定化を目指していく。一方、総務での募集については速やかな人材確保ができた。改めて、介護職等専門職の募集が難しい状況であることを痛感した。

今後も、採用活動は続行していくが、それぞれが現状を十分理解した上で、無いものねだりに固執するのではなく、職員個々のレベルアップを目指す体制づくりや負担軽減のための介護ロボット導入の検討、介護職が介護に特化できるようにするための介助員の確保など、総務だけの範疇ではなく法人全体としてどう取り組むかの方向性を常に発信し、各部署と連携し決めていくことも必要と感じる。

(2) 栄養調理

食事メニューの中に各地方に伝わる郷土料理を加えたり、年間行事の際にはその時々や季節を感じていただける食事を提供した。また、施設館内ではあるが、いつもと違う場所で食事をしたり、食器類を行事内容にあわせ装飾して提供した。また、「ふれあい納涼祭」の際には、普段食することが難しい品々を提供し、自然と笑みがこぼれる利用者の表情を多く拝見することができた。人員固定がなかなかできない状況ではあるが、今できる可能な範囲内で最大限の提供を目指し、引き続き実践していく。

(3) 行事

① ふれあい納涼祭

開催日：8月25日（日）15：00～19：30

開催場所：やすらぎ園本館及び新館

参加者：やすらぎ園入所者、職員

内容：催し物（デカンショ踊り、ゲーム、屋台）、花火等

② 敬老祝賀会

開催日：9月15日（日）

③ 新年祝賀会

開催日：1月1日（水・祝）

④ 2024 古市フェスタ

開催日：10月6日（日）

開催場所：古市サービスステーション

参加者：やすらぎ園古市館利用者及びその家族、地域住民等

内容：催し物（デカンショ踊り、ゲーム、屋台等）

⑤ ポップサーカス招待事業

招待日：10月8日（火）

場所：ポップサーカス神戸公演（イオンモール北神戸）

参加者：入所者、職員 計6名

⑥ 職員忘年会

開催日：12月23日（月）

開催場所：新たんば荘（参加者：40名）

内容等：永年勤続表彰及び丹南厚生会役員との交流の場としても開催

(4) 消防（防災）訓練

① やすらぎ園（通報訓練、避難訓練、消火訓練等）

（第1回）6月27日（木）、（第2回）10月29日（火）

② 古市館消防訓練

（第1回）9月25日（水）、（第2回）3月27日（木）

③ 災害発生時システム訓練（県主催）に参加

(5) 事故・ヒヤリハット

① 事故報告件数：274件

内訳：本館201件、ユニット67件、その他6件（デイ、古市）

② ヒヤリハット報告件数：86件

内訳：本館61件、ユニット20件、その他5件（デイ、古市）

③ 重大事故(市報告)件数：4件（骨折）

(6) 兵庫県老人福祉事業協会

丹波ブロック老人福祉事業協会より県老人福祉事業協会のデイ部会担当となり、県事業に参画するとともに、丹波ブロック事業にも積極的に参加した。

5. 事業実施状況

(1) 従来型特養、短期入所生活介護

① 評価

令和6年度の上半期は新型コロナウイルスのクラスター発生や死亡退所、医療が必要となり入院者もあり、4、5月と空床が増え、稼働率の低下が顕著にみられ、6月までは稼働率が98%を下回ったために上半期は97.8%の稼働率にとどまった。また、利用者の平均介護度は年間を通して変わりはないが、職員の欠員が生じた分、利用者への個別ケアへかける時間が十分とれなかった。看取りで生活をされ、老衰で亡くなられた方等もあったが、相談室と連携し、退所から契約入所の空床期間も数日でスムーズに行えた。

年度末に入院者が続き、事業計画で想定していた入院日数はオーバーすることとなった。入院日数が増加したことにより、空床期間も増え昨年度より稼働率は低下し、目標の98.7%には達することができなかった。体調不良による入院も今後は医務との連携をより強化し、入院者を減らすことで稼働率の低下を防いでいきたい。

事故発生時の報告はあるが、ヒヤリハットの報告は少ないため、今後の課題としてヒヤリハットを確実に記録することで事故の発生、事故による入院を防げるよう、職員の見守り体制、職員の気付き、事故を未然に防ぐ能力の向上を目指したい。

職員は現状の中で助け合い、先を見越して行動し、今年度、介護ソフトを導入したことで効率的に業務を行えるようになってきている。今後は、人員不足の解消・サービスの質の向上に向けて職員の育成や定着（離職防止）に努めていきたい。

② 重点項目の取り組み、評価

ア. 利用者とのコミュニケーションの充実を図り、利用者の尊厳を守り、その人らしく穏やかに過ごせるように支援する

年間行事や各担当職員が個別に利用者とのコミュニケーションをとりながら利用者が望む生活の支援、充実した時間の提供・確保を実施した。今後も利用者の尊厳を守りながら、一人ひとりの利用者としっかり向き合い、利用者の声を聞き、本人主体（利用者主体）のサービスの提供、また業務だけにとらわれず職員、利用者負担がない組織体制作りを実施していく。

イ. 日々の生活への刺激となるような生活訓練やレクリエーションを企画し、メリハリのある楽しい生活を送ることができるよう支援する

レク係を中心とした計画的な企画・実施はできなかったが、余暇時間を活用し、各フロアの壁画制作として飾り作りや貼り絵、個別での塗り絵や小グループでの歌や体を動かす体操など、生活のメリハリにつながる取り組みを実施した。

ウ. 職員教育のための新人研修や階層別研修を企画、実行し、成長できる人材育成に努める

新入職員研修については、昨年度に作成したマニュアルに沿って教育チームを発足し、チームリーダーである室長を中心に実施したが、人員の不足や業務習得に不安があり、計画通りにはできなかった。教育の内容の検討・見直しを都度実施し、計画通

りに研修が実施できるように努める。

階層別研修については、各個人の意欲、知識、技術の向上のために計画していたが、実施できたのは一部のみとなった。次年度は加算取得のための外部研修やネット配信のフォローアップ研修に計画的に参加できるよう実行する。

③ サービス状況、事業内容、特徴的な事項

地域の感染状況や動向に考慮し、少しずつ制限を緩和し、季節の行事（お花見ドライブ、お茶まつり、ふれあいまつり、クリスマス会など）は、利用者に喜んでいただけるよう実施した。季節行事の他に余暇時間には、個別支援（塗り絵、パズル、計算ドリルなど）の実施や、多職種連携により利用者の身体機能低下防止や安心・安楽な生活が送れるようサービス提供を実施した。

④ 実利用者数（定員 58 名）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
介護 1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	2	8
介護 2	6	6	6	6	6	7	7	6	6	6	5	3	70
介護 3	19	20	21	20	22	22	22	22	23	23	25	27	266
介護 4	18	17	18	18	17	17	17	18	17	17	17	17	208
介護 5	14	14	13	14	14	12	14	14	13	12	11	11	156
計	58	58	59	59	60	58	60	60	59	58	59	60	708

⑤ 延利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
介護 1	30	31	30	31	31	0	0	0	0	0	28	62	243
介護 2	180	186	180	166	186	210	217	180	186	186	121	74	2,072
介護 3	570	598	619	608	616	660	662	626	690	713	651	724	7,737
介護 4	474	515	483	554	527	510	508	508	504	510	476	499	6,068
介護 5	420	404	390	405	409	360	421	366	363	359	292	338	4,527
計	1,674	1,734	1,702	1,764	1,769	1,740	1,808	1,680	1,743	1,768	1,568	1,697	20,647
ベッド数	1,740	1,798	1,740	1,798	1,798	1,740	1,798	1,740	1,798	1,798	1,624	1,798	21,170
稼働率	96.2%	96.4%	97.8%	98.1%	98.4%	100.0%	100.6%	96.6%	96.9%	98.3%	96.6%	94.4%	97.5%

⑥ 入退所者、入院者数等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所数	1	2	1	1	2	0	2	5	3	2	1	2	22
入所数	0	1	2	1	2	0	2	3	3	2	3	2	21
入院者	4	4	1	1	1	0	1	2	1	0	3	7	25
延入院日数	73	65	27	12	19	0	0	46	1	0	42	83	368

⑦ 短期入所生活介護（定員 12 名）利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	4	2	2	3	0	0	0	0	0	0	11
要支援2	0	0	0	0	0	3	3	3	2	0	3	1	15
介護 1	20	24	8	21	21	45	42	61	57	31	33	58	421
介護 2	92	68	84	49	31	47	42	64	41	23	32	11	584
介護 3	91	97	91	103	122	64	90	106	65	127	118	140	1,214
介護 4	54	44	40	20	8	19	29	39	40	42	31	40	406
介護 5	51	49	63	79	49	60	39	40	54	69	47	48	648
計	308	282	290	274	233	241	245	313	259	292	264	298	3,299
ベッド数	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4,380
稼働率	85.6%	75.8%	80.6%	73.7%	62.6%	66.9%	65.9%	86.9%	69.6%	78.5%	78.6%	80.1%	75.3%
1日平均	10.3	9.1	9.7	8.8	7.5	8.0	8.2	10.4	8.4	9.4	9.4	9.6	9.0

(2) ユニット型特養

① 評価

職員の離職もなく利用者に適切なサービスを提供できる体制が取れ、職員間、各部署との連携を取り利用者に寄り添った支援に努めた。退所者が続き、次の入所までの空床期間や年度末には入院者が続き、定員の30名を維持していたが、目標の98.7%には達することができなかった。

感染症については、新型コロナウイルスに1名の感染者があったが、クラスターには至らず、昨年度の教訓を活かして感染拡大防止に努めることができた。今年度の入退所者は昨年度より2名多い10名となり介護量の増加、見守りが今まで以上に必要となったが、職員全体で情報を共有し、ケアが実施できた。

② 重点項目の取り組み

ア. 業務改善を図り、サービスの質の向上、専門性を高め、業務の効率化を目指す

今年度よりケアカルテを導入し、記録時間の短縮にはつながったが、業務改善に活かすまでには至らなかった。次年度は、介護ソフトを効率的に活用し、適正な運営管理に努めたい。

イ. 利用者一人ひとりの日々の生活の様子に目を向け、一人ひとりの思いに配慮した関わりを持つ

年間行事では利用者と関わり、ともに楽しむ時間を共有することができた。次年度、ユニットリーダーや各担当職員を中心に利用者一人ひとりに寄り添った関りを持てるように努めたい。

ウ．一人ひとりのニーズに沿ったケアをするために、趣味や生活歴を活かした余暇活動など個別ケアの充実を図る

余暇時間には、個別の手作業や交流スペースに集まり、集団レクを実施した。次年度は、ユニットケアとしてのサービスの質を向上するためにユニットケア研修や施設見学を計画、実施したい。

エ．職員育成のための新人研修や階層別研修を企画、実行し、成長できる人材育成に努める

法定研修には全職員が参加し、専門職としての資質の向上に繋げることができた。階層別研修については、計画通りには実施することができなかった。次年度は、計画に基づき、外部研修、ネット配信によるフォローアップ研修を活用し、人材育成に努めたい。

- ・ユニットケア施設管理者研修 修了者：1名
- ・ユニットリーダー研修 修了者：1名

③ 利用者の状況

利用者の立場に立ち、利用者本人の望む生活が送れるようなサービスの提供に心掛けた。また、利用者の状態把握に努め、各部署と連携を取り利用者が安心して生活が送れるように努めた。行事については年間計画通りに実施ができ、今年度は感染症による制限を緩和し、外出支援も実施でき、利用者にも喜ばれた。

④ 実人員（定員 30 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22
介護3	9	9	8	8	8	9	9	10	10	10	11	11	112
介護4	11	11	12	10	10	10	10	9	10	9	9	9	120
介護5	9	9	10	10	10	10	9	9	9	11	8	9	113
計	30	30	32	30	30	31	30	30	31	32	30	31	367

⑤ 延利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	30	31	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	669
介護3	270	279	240	248	248	254	279	280	310	310	308	329	3,355
介護4	330	341	278	305	310	300	297	270	266	253	252	238	3,440
介護5	270	279	291	310	310	280	279	270	279	264	224	242	3,298
計	900	930	869	925	930	894	917	880	917	889	840	871	10,762
ベッド数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950
稼働率	100.0%	100.0%	96.6%	99.5%	100.0%	99.3%	98.6%	97.8%	98.6%	95.6%	100.0%	93.7%	98.3%

(1) 入退所者、入院者数等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
退所数	0	0	3	1	0	0	0	0	1	3	0	2	10
入所数	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2	1	1	9
入院者	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
延入院日数	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	33	46

(3) 相談室

① 評価

電話やLINEでの連絡、受診、面会、外出時などの対応の際に直接家族とコミュニケーションを図り、利用者の状態や生活状況などを伝え、信頼、安心感を持ってもらえるように努めた。入退所については、毎月各事業所と連絡を取り、ショートステイ利用者・入所者の確保に努めた。

② 重点的な取り組み

ア. 利用者のカンファレンスの実施

グループ（ユニット）ごと6ヶ月に1回カンファレンスを実施。入所時、退院時、看取り時など状態変化時に個別カンファレンスを実施した。

イ. 利用者家族とのコミュニケーション、情報共有の強化

電話やLINEでの連絡、受診、面会、外出時などの対応の際に直接家族と相談支援や生活の様子などを伝え、コミュニケーションを図った。ケアプランにも生活状況を記載し、家族も安心していただけるよう支援を実施した。また、3ヶ月に1回、個別機能訓練計画書を送付する際に、写真などを添付し、家族に利用者の様子がわかりやすいよう工夫を図った。

ウ. 営業活動の実施

市内以外に丹波市や三田市の老人保健施設に営業活動を実施し、ショートステイや入所の利用に繋げた。

③ 入所状況・空床日数を減らす取り組み

入所判定委員会を必要時に開催し、稼働率アップ、空床日数の減少に努めた。従来型特養は入院者や退所者が多い時期があったが、満床の維持に努めた。入院による空床をショートステイ利用者に使用するなど空床の減少に努めた。

(入所実績) 従来型特養 22 名 (退所者 22 名)

ユニット型特養 10 名 (退所者 11 名)

④ 利用者の状況

定期外来受診や緊急時の受診、入院要請に対して医務と連携し、家人への対応など迅速に実施した。

⑤ サービス状況、事業内容、特徴的な事項

音楽療法、紙芝居、演奏会などのボランティアやドライブ、外出支援などを実施した。園芸療法については、5 月にすいかを植え、夏に収穫し利用者が喜んで食された。6 月に玉ねぎを利用者と一緒に収穫し、季節行事を楽しんでいた。

(4) 医務

① 評価

利用者の状態把握や確認に努め、介護職員からの報告・相談に対応した。常に多職種と連携し、早めの対応、利用者に寄り添う支援を心掛けた。家族面会や行事ごとによる外部からの出入りが多くなる中、常に感染 3 原則を念頭に置きながら感染対策意識を持ち行動した。

② 重点項目の取り組み状況

ア. 感染症予防対策の強化

感染症が疑われる時には居室での隔離対応、抗原検査の実施等迅速に対応し、感染症拡大予防に努めた。

イ. 終末期（看取り）看護の質の向上

施設での看取りを希望される方も増え、今年度は 22 名の方を看取った。他部署と連携、協力をし、最期まで利用者・家族に寄り添った支援を実施した。

ウ. 看護職員の知識、スキルの向上

エ. 多職種との連携、チームワークの強化

統一した看護ができるよう意見交換や情報共有を実施した。また、高齢者看護の研修に積極的に参加をした。

③ 利用者の状況

兵庫県健康財団による利用者の健康診断を 4 月に実施し、血液検査の結果をもとに栄養会議などで話し合い、栄養改善に努めた。

④ 感染症予防の推進

- ・入所者健康診断（兵庫県健康財団） 4 月
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザ予防接種（全利用者） 11 月
- ・各居室に加湿器を設置（室温・湿度管理） 11 月～3 月

(5) やすらぎ園デイサービスセンター

① 評価

職員が充足し、「売り」の一つである一人ひとりへの細かなサービスの提供や、季節の行事等が毎月計画・実施でき利用者に楽しんでいただいた。

新しい取り組みとして紅葉狩りやデイサービスの文化祭も開催できた。利用者だけでなくご家族や各事業所のケアマネジャーにも積極的にアピールし、ホームページ内のブログも定期的に掲載する事で利用者獲得に幅広く PR 活動できた。

目標稼働率の 58.6%には及ばなかったが 50%を超える月が多くなり、令和 7 年度に繋がられる 1 年となった。

② 事業計画での重点項目の取り組み状況

ア. 利用者が個別に取り組んでいる作品が「月間デイ」で表彰され、更に積極的に作品作りに取り組まれるようになった。(俳句や壁画制作、ぬり絵等) また、文化祭で多くの方に作品を出展し披露したことで利用者全体の意欲向上に繋がった。その他、個々の身体機能の維持向上にも積極的に寄り添い、生活を見直す等他事業者やケアマネジャーと連携強化に取り組むことが出来た。

イ. 味間奥クッキング教室に出向き、体操や自宅でもできるストレッチを一緒に行い交流を深めた事で、今後の施設のおやつ作りやその他行事の参加に繋ぐきっかけができた。(クッキング教室は令和 7 年 2 月に終了)

ウ. ブログの掲載、文化祭の実施、定例会やケアマネ・他事業所の方々との研修に参加した。

エ. 介護ソフト（ケアカルテ）を導入し業務の効率化や ICT 化を進めた。

③ 月別利用状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	26	24	26	312
登録者数	35	35	37	33	33	33	35	35	35	37	38	35	421
利用実人員	27	28	30	30	29	30	30	31	30	28	30	30	353
利用延人数	205	230	226	251	242	260	265	241	239	212	221	279	2,871
要介護度	支援1	0	0	1	2	0	1	2	1	0	0	3	11
	支援2	4	5	4	5	3	2	28	29	32	5	25	172
	介護1	105	107	103	109	101	96	93	77	79	66	64	1,068
	介護2	42	65	63	75	82	82	89	92	90	81	74	921
	介護3	10	7	13	13	15	4	5	4	4	4	3	97
	介護4	13	12	12	14	12	21	17	13	14	36	33	248
	介護5	31	34	30	33	29	29	31	25	20	20	19	329
利用率	43.8%	47.3%	50.2%	51.6%	49.8%	57.8%	54.5%	51.5%	51.1%	45.3%	51.2%	59.6%	51.1%

④ 季節行事等の開催・実施

月	内容等
4	ひな祭り会（5日）お花見ドライブ（8日～12日）、おやつ作り（ベビーカステラ 27日）、誕生日会、味間奥クッキング教室
5	おやつ作り（三色だんご 24日）、誕生日会、母の日、味間奥クッキング教室、味間奥グランドゴルフ（23日）
6	おやつ作り（三色だんご 24日）、誕生日会、母の日、味間奥クッキング教室、味間奥グランドゴルフ（20日、27日）
7	おやつ作り（わらび餅 7/24）、七夕会、誕生日会、味間奥クッキング教室
8	おやつ作り（アイスクリームパフェ 22日）、誕生日会
9	味間愛育班（13日）、グループ琴音（18日）、敬老会（16日、17日）、お茶会（28日）誕生日会、おやつ作り（おはぎ 27日）、味間奥クッキング教室
10	運動会（19日～25日）、おやつ作り（さつまいものおやき 26日）、誕生日会
11	文化祭（11日～16日）、おやつ作り（かぼちゃのソフトクッキー 26日）、フラダンス、誕生日会、味間奥クッキング教室
12	味間愛育班（クリスマス会 11日）、おやつ作り（クリスマスケーキ 24日）、誕生日会
1	新年会（14日、20日）おやつ作り（ピザトースト 29日）、誕生日会、味間奥クッキング教室
2	おやつ作り（蒸しパン 22日）、誕生日会、味間奥クッキング教室
3	節分祭（8日）、おやつ作り（いちご大福雛 24日）味間愛育班（ひな祭り会 28日）、誕生日会

⑤ 会議等

- ・部門会議（毎月）
- ・感染症対策委員会
- ・虐待防止委員会
- ・定例会（毎月）

⑥ 研修会等

- ・この指と～まれ研修（5月、9月）
- ・高齢者虐待防止研修（8月）
- ・入浴研修（部門内研修）（10月）
- ・福祉用具 展示体験会（10月）
- ・感染症対策研修（手指洗浄・消毒）（11月）
- ・感染症予防及び緊急時の対応研修（部門内研修）（12月）
- ・虐待防止研修（1月）
- ・BCP 研修・訓練（1月）
- ・防災研修（1月）

⑦ 広報・情報誌「茶の花通信」の発行

計5回（4・5月号、6・7月号、敬老会特集号、運動会・紅葉狩り・文化祭他特集号、1・2月号）

⑧ 運営推進会議の開催

第1回 開催日：令和6年9月26日（木） 14時05分～15時15分
 第2回 開催日：令和7年3月13日（木） 14時05分～15時15分
 場 所：やすらぎ園談話室

(6) 小規模多機能型居宅介護センターやすらぎ古市館

① 評価

令和6年度前半の登録者数は10～12名の間で推移、後半から年度末にかけて16名まで登録者数を獲得できたが（平均12.5名/年）、目標である13.0名に到達できなかった。利用状況については利用者の9割が要介護度1～2の方で、要介護度が3以上になると施設入所の希望が強くなり、その後の利用に繋がらなかった。

11月人員体制が整ったことをきっかけに、柔軟なサービスの提供を心掛けご家族と連携を深め、希望が叶う体制づくりを行った。

② 利用者の状況

3月末現在、登録者16名のうち独居の方が7名、家族と同居の方が9名と様々な生活状況があるが、在宅での生活が長く続けられるよう支援した。新規利用については、西部包括支援センターの紹介が多くを占め、他にいきいき塾の利用者から契約になるケースもあった。「通い」と「訪問」を組み合わせ利用し、慣れてくれば「泊り」を利用したいとの希望者もあり、サービスの組み合わせと満足度の高い提案が今後の課題である。

③ サービスの内容

行事については、古市地区の「カフェやすらぎ」や折り紙会の参加、今年度初めて企画した「古市フェスタ」を開催し地域と交流を図った。また、個別外出支援で外食や「桜の花見」「シャクナゲ鑑賞」「本郷のこいのぼり観賞」「大国寺と丹波茶まつり」「紅葉狩り」「菊花展」等、季節ごとにドライブや外出行事を行った

④ 月別実績状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	1	1	1	0	0	0	0	2	2	2	1	1	11	0.9
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護1	4	4	4	5	5	5	5	6	7	6	7	9	67	5.6
要介護2	5	5	4	4	5	6	6	5	5	6	5	6	62	5.2
要介護3	1	1	1	1	2	1	1	0	0	1	0	0	9	0.8
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	11	11	10	10	12	12	12	14	14	15	13	16	150	12.5
通い	185	186	163	170	181	185	185	141	148	166	141	167	2,018	168.2
泊り	26	27	22	20	29	26	25	12	10	17	13	18	245	20.4
訪問	63	67	59	63	78	96	105	100	64	55	60	95	905	75.4

⑤ 行事

- ・カフェやすらぎ（毎月）
- ・ドライブ（4月、5月、9月～11月）
- ・折り紙教室（5/23、7/25、9/26）
- ・大国寺と丹波茶まつり（6/1）
- ・七夕会（やすらぎ園デイサービス）（7/13）

- ・個別外出支援（7/22）
- ・古市フェスタ（10/6）
- ・フラダンス（ボランティア やすらぎ園）（11/26）
- ・クリスマス会（味間愛育班 やすらぎ園）（12/11）
- ・クリスマス会（いきがいカフェ 市民センター）（12/19）
- ・クリスマス会（古市館）（12/25）
- ・もちつき大会（やすらぎ園）（12/30）
- ・新年会（やすらぎ園デイサービス）（1/14、1/20）
- ・節分祭（やすらぎ園デイサービス）（3/8）
- ・ひな祭り会（味間愛育班 やすらぎ園）（3/28）

⑥ 会議

- ・職員会議（毎月）
- ・感染症対策委員会（5/13、8/12、11/11、2/10）
- ・虐待防止委員会（5/6、11/4）
- ・身体拘束廃止委員会（5/6、8/5、11/4、2/3）
- ・カフェやすらぎ実行委員会（3/19）
- ・いきいき塾担当者会議（3/24）

⑦ 研修

ア．内部研修

- ・身体拘束研修（5/9）
- ・虐待防止研修（7/24）
- ・感染症対策研修（手指洗浄・消毒）（11/11～13）
- ・事例学習（心疾患があり出血・梗塞リスクの高い利用者の注意点）（11/14）
- ・アルコール依存症（1/16）
- ・身体拘束・虐待防止研修（2/13）
- ・BCP 研修・訓練（3/6）

イ．外部研修

- ・自然災害の対策等防災について（8/7）
- ・福祉用具展示体験会（11/28）
- ・感染症研修（12/13）
- ・今田地区介護セミナー（12/14）
- ・防災研修（1/21）
- ・虐待防止研修（2/12）
- ・デイ部会研修会「今の時代のレクリエーションについて」（1/14）

⑧ 運営推進会議の開催

2 カ月毎に開催

開催日：5 月 29 日、7 月 31 日、9 月 25 日、11 月 27 日、1 月 29 日、3 月 26 日

(7) 居宅介護支援事業所

新規利用者は年間 18 名（1 か月の平均が 1.5 名）、終了の方は 13 名（1 か月の平均で 1.3 名）であった。終了となるケースより新規のケースが多いが、介護者の高齢化や住環境、体調を壊し入院した際の長期化により重度化が進むなどの要因で施設入所、老健入所される方が多かった。

定例会や主任ケアマネ連絡会、けあまネットなどに参加し、他事業所との連携や情報交換が積極的できた。また、研修会などにも参加することで資質向上にも努めることができた。

認知症の高齢者世帯や独居、老々介護の世帯が徐々に増えてきている状況であったが、家族が遠方のいる利用者も徐々に多くなってきている状況である。

サービス状況として大きな変化はなく、介護度が上がるにつれ訪問系サービスが減り、通所系サービスが増えてくる傾向にある。また、短期入所生活介護や通所リハビリテーション等を希望される割合も増えている状況である。

① 月別実績状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
件数	55	57	55	52	50	53	53	55	55	47	49	48	629	52.4
軽度	37	36	38	37	38	42	41	41	43	38	36	37	464	38.7
重度	18	21	17	15	12	11	12	14	12	9	13	11	165	13.8
新規	3	1	2	1	1	2	1	2	3	0	1	1	18	1.5
中止	2	0	2	1	4	0	0	1	3	1	0	1	15	1.3
認定調査	1	2	4	5	2	2	3	2	3	5	3	2	34	2.8
申請代行	3	3	2	1	4	2	5	2	3	7	3	4	39	3.3

② 外部研修、その他

4月	「介護予防・総合事業」、「報酬改定」、「虐待防止・身体拘束廃止」に関する研修
5月	多職種連携会議「この指と～まれ」、緊急出動の状況について
6月	介護支援専門員・相談支援専門員と民生委員・児童委員の交流会（丹南支部）
7月	介護支援専門員・相談支援専門員と民生委員・児童委員の交流会（篠山支部） 「レスパイト入院」「福祉用具の貸与と販売の選択制導入」に関する研修
8月	「災害時ケアプラン作成」に関する研修
9月	多職種連携会議「この指と～まれ」、訪問介護士だからできる人生会議
10月	「成年後見制度・意思決定支援」に関しての研修
12月	「介護現場における感染対策」に関する研修
1月	職種連携会議「この指と～まれ」、医師の立場から見た人生会議と多職種連携 「自殺対策・対応方法と支援者のこことのケア」に関する研修 災害研修「西日本豪雨災害から学び～みんなで取り組む防災～」
2月	「高齢者虐待防止」、介護支援専門研修「人生会議・看取り」に関する研修

(8) 地区いきいき塾（市よりの受託事業）

市受託事業として地区まちづくり協議会と協同して実施している。

- ・開催日：味間地区（毎週火曜日 午前）、古市地区（毎週金曜日 午前）
- ・時間：1回 約2時間
- ・内容：デカボー体操、意見交換（コミュニケーション）等

地区名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
味間	回数	5	3	4	5	3	4	5	4	4	4	3	4
	人数	10	12	12	11	10	7	10	9	11	11	11	8
古市	回数	4	4	4	4	4	4	4	5	3	4	4	4
	人数	9	11	11	12	13	11	9	8	9	5	7	8

6. 職員（令和7年3月31日現在）

(1) 職員数

（単位：人）

区分	正規	嘱託・契約	パート(社保加入)	その他非常勤等	計
女	23	8	10	19	60
男	23	2	0	6	31
計	46	10	10	25	91

*休職中2人(正規1、パート1)

(2) 表彰・感謝関係

- ② 兵庫県知事表彰（10月30日 第72回兵庫県福祉大会 宍粟市）
吉田大介（社会福祉関係功労者 優良施設職員）
- ③ 兵庫県社会福祉協議会会長表彰（10月30日 第72回兵庫県福祉大会 宍粟市）
芝拓哉（社会福祉事業功労者 役員）
畑やよい（社会福祉事業功労者 職員）
- ④ 兵庫県老人福祉事業協会（6月26日、同協議会定時総会時 神戸市）
会長表彰：竹田昂平、山本智希
- ⑤ 丹南厚生会理事長表彰（12月23日）
やすらぎ園永年勤続：(15年) 柴田久美、(10年) 濱川茂、山本智希

(3) 職員採用状況

- ①採用職員：正規職員：2名（調理職1名、事務職1名）
非常勤職員：契約・パート職員 7名(介護職)
- ⑨ 退職者：正規職員4名（介護職2名、相談員1名、事務職1名）
嘱託・パート職員8名
- ⑩ 外国人労働者の雇用

雇用人数：2名（男1名、女1名）

国籍：ベトナム社会主義共和国

登録支援機関：兵庫中央事業協同組合（丹波市）

四半期報告：出入国在留管理庁に4半期ごとに受入・活動状況に係る届出書を提出

7. 設備整備、修理・修繕等

(1) ライン浴槽、チェア浴槽の新規購入、設置

器機名：アマノ製特殊浴槽(ライン浴、チェア浴)、ストレッチャー、シャワーチェア他

購入・設置業者：株式会社プロテクトワン(神戸市)

費用：9,645,000円(税込み)

その他：JKAより補助金活用（補助額：7,233,750円）

(2) 介護記録ソフト

ソフト名：介護ICT運用ケアカルテ

購入業者：Canon（京都市）

購入金額：9,982,500円(税込み)

その他：経済産業省のICT補助金活用(補助額：4,145,900円)

8. 地域貢献活動及び各種団体等との連携

(1) 各種会議への参加

① 丹波篠山市介護サービス事業者協議会（定例会（毎月）、役員会、総会に参加）

② 丹波篠山市社会福祉法人連絡協議会（役員会、総会等に参加）

＊総会及び研修会 7月17日(水) 丹南健康福祉センター

＊社会福祉政策に関する要望書の提出及び意見交換会 11月21日(木) 市長公室

③ 丹波篠山市給食施設協議会

2月20日(木) 丹波の郷

④ 地区福祉会議への参加

味間地区、大山地区、古市地区、城南地区

(2) 実習生の受け入れ

武庫川女子大学より4名(社会福祉士実習)

2月17日、18日、22日（8時45分～17時）延8名

(3) 地域行事等への参加

① 丹波篠山市社会福祉協議会事業への協力

＊福祉ジュニアカレッジ、＊ささっこ食堂送迎

- ② 認知症カフェへの参加
古市地区で開催される集いに参加
- ③ 味間地区行事（茶まつり）に参加 6月1日（土）
- ④ 味間奥自治会関係行事への参加
 - *第4福寿会総会 4月10日（水） 茶の里会館
 - *味間奥敬老祝賀会 9月16日（月・祝） 茶の里会館
 - *味間奥クッキング教室参加
 - *味間奥グランドゴルフ参加
 - *味間奥自治会加入

（4） その他

- ② 実務者研修実習スクーリング会場提供（2クール、計14日）
- ③ ワーキング丹波パン販売場の提供（概ね週1回）
- ④ 障害者作業所（榊農園）への業務依頼（草刈等）
- ⑤ 警察友援会、防火安全協会、交通安全協会への参画及び行事等への参加
- ⑥ やすらぎ園古市館を地域事業等へ場所提供
- ⑦ 介護支援相談専門員の訪問受け入れ（随時）